

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

各試験液の濃度は開始時において設定値の 58～65 %であったため、下記の生長阻害濃度の算出には実測値を採用した。なお、暴露72時間後の設定値に対する割合は 39～42 %であった。被験物質は揮発性であるため、被験物質濃度の減少は、主に揮発によるものと判断した。

2) 生長曲線下面積の比較による阻害濃度

50%生長阻害濃度 EbC50(0-72) : 22.3 mg/L (95%信頼区間 : 19.6～25.4 mg/L)

無影響濃度 NOECb(0-72) : 10.1 mg/L

3) 生長速度の比較による阻害濃度

50%生長阻害濃度 ErC50(24-48) : 38.2 mg/L (95%信頼区間 : 算出不可)

無影響濃度 NOECr(24-48) : 19.1 mg/L

50%生長阻害濃度 ErC50(24-72) : 42.7 mg/L (95%信頼区間 : 算出不可)

無影響濃度 NOECr(24-72) : 33.5 mg/L